調　査　書

記入例(学区内中学校)

宮城県立光明支援学校

受検番号	＊　　番

本　人	ふりがな 氏　名	こう　みょう　た　ろう 光　明　太　郎	性別	㊚・女	生年月日	昭和 (平成)２３年○○月○○日生
	中学校在学（出身）者所属学級	特別支援学級（障害種　知的障害　　）　、　通常学級				

障害・疾病等	知的障害、自閉症		
手帳の有無	療育手帳	身体障害者手帳	精神障害者保健福祉手帳
	Ａ　・　Ｂ　・　なし	あり(４級２種)・　なし	１級・２級・３級・なし

心理・発達検査等	実施年月	検　査　名	検査機関名・検査者名	結　果　等

学習の記録	教科等	学　習　の　状　況
	国語	
	社会	
	数学	
	理科	
	音楽	
	美術	
	保健体育	
	技術・家庭	
	英語	
	作業学習	
	特別の教科道徳	
	総合的な学習の時間	
	自立活動	

特別支援学級在籍の場合は、その障害種の明記を忘れずに。

療育手帳の発行・更新時などに外部の専門機関で検査した結果を記入する。
不明な場合や未実施等の場合は、「検査名」の欄に「なし」と記入する。

教科等の数に応じて、行の増減をする。

指導している教科等ごとに**簡潔に記入**する。
・できることは何か。
・どんな指導をして何ができるようになってきているのか。
・現在、どんな課題に取り組んでいるのか。
例えば、
・名前を呼ぶと「はい」と返事をすることができる。
・音楽が流れると鈴やタンブリンを鳴らすことができる。
・柔軟性を維持するためにストレッチ運動を行っている。
・絵カードや写真カードを利用したコミュニケーションの伝達学習をしている。

特別活動等の記録

１学期学級委員として、「挨拶運動」を喜んで行った。修学旅行では、落ち着いて集団行動をとることができ、楽しんで活動している様子が見られた。

注１　＊の欄は記入しない。なお、教科等の欄は貴校で実施している教科並びに指導の形態名を記入する。

注２　パソコンで作成する場合にはこの様式にのっとる。ただし、左側余白を 25 ㎜とり両面印刷とする。

受検番号	＊　　番	本人氏名	光 明 太 郎

食事、排せつ、衣服の着脱、睡眠などについて簡潔に記入

発達の様子	基本的生活習慣	衣服の着脱では、前後や裏表を間違えることはあるもののほぼ自立している。食事については、スプーンを口に運ぼうとする動作は見られるものの介助が必要である。
	運動能力	姿勢保持、移動、上下肢の動き、歩・走・跳の動き、ボール運動、水泳、器械運動などについて簡潔に記入
	手指機能	握る動作、つまむ動作、両手の動き、興味ある物への反応、手先の器用さ（紙、はさみ、刺し子、ボルト、くぎ打ち、タオル、はし等）などについて簡潔に記入
	言語理解	呼名、呼び掛け、問い掛けなどに対する反応、日常生活での様子、指示に対する反応、意思表示などについて簡潔に記入
	社会性	友達や教師とのかかわり、集団参加などについて簡潔に記入
現在の状況	＝性格や行動の特徴＝	性格（明朗、温厚等）、喜怒哀楽の表情、緊張の状態、情緒の安定、こだわり、興味や関心、意欲、見通しなど
	＝健康面で配慮しなければならないこと＝	特になければ、「特になし」と記入する。個別の教育支援計画を参照する。
	＝家庭の教育によせる関心＝	・学校教育に親の願い、卒業後の進路に対する保護者の希望、学校に対する協力、行事や面談等に対する参加度合いなどを簡潔に記入（個別の教育支援計画を一部参照すること）

出欠の記録
（令和８年１１月３０日現在）

	授業日数	欠席日数	忌引き等日数	出席日数
１年				
２年				
３年				

＝その他の特記事項＝

何もない場合には、「なし」と記入する。

・就学中の転（編）入学について
令和〇年〇月〇日　〇〇立〇〇学校から
〇学年に転入

・進路に関すること

・「高等部卒業後は、〇〇〇〇〇〇を希望している。」等

・その他

何もない場合には、「なし」と記入する。

記載内容に誤りがないことを証明します

令和　８　年　１２　月　〇　日

学　　校　　名　　仙台市立〇〇中学校

校　長　氏　名　　〇　〇　　〇　〇　　職　印

職印を忘れずに。